

# 代表質問

2月定例会では、7つの会派が代表質問を行いました。代表質問を行った会派の発言順及び発言時間(答弁含む)は次のとおりです。

創生市川・自民党第1(210分)、公明党(180分)、創生市川・自民党第2(120分)、新しい流れ(120分)、市民クラブ(105分)、日本共産党(105分)、チームいちかわ(105分)

※2次元コードから代表質問の動画をYouTubeにてご覧いただけます。ご覧いただけない場合は、恐れ入りますが議会事務局議事課までお問い合わせください(047-712-8673)。



市川市急病診療所

**問** 急病診療所は年末年始が繁忙期となっており、その際の待ち時間は、受付から診療までに3時間以上、会計や薬の受け渡しまで含めると5時間近くに及ぶ状況であるという。こうした状況を緩和するためには、医療従事者の増員を始め、

## 急病診療所

**答** 年末年始は感染症の流行に伴い、患者数が増加することから、医療従事者の増員を図り、対応している

**問** 昨今、犯罪の手法が多様化し、特殊詐欺や強盗などが組織的に行われていることが明らかになっており、本市でも同様の事件が発生している。防犯カメラの設置を実施し、防犯カメラの設

## 防犯対策

**答** 防犯カメラの設置は、危険人物の判断基準や、導入している自治体の運用状況などの情報を収集するとともに、調査・研究していきたいと考えている。

**問** デジタル地域通貨は、ブロックチェーン技術に基づき、非代替性トークンや、DAO(自立分散型組織)などの最新技術と連携し、新たな価値を創出する可能性があると考える。本市もこうした取り組みを進めることで、「デジタルスマートシティ市川」として、人口の流入も期待できるため、先進的な取り組みを求めたい。そこで、デジタル地域

新しい流れ

にしむた勲 沢田あきひと

石原よしのり 松永 鉄兵

## 下水道管路の老朽化

**問** 令和7年1月28日、埼玉県八潮市で下水道管の破損による道路陥没事故が発生し、大規模な捜索や復旧作業が続いている。破損した下水道管は使用開始から40年程度経過したものとのことである。本市においても40年以上経過した下水道

**答** 本市では、昭和36年から下水道整備を進めてきたが、整備時期の早い真間・菅野地区では小規模な道路陥没が発生している。発生件数は、令和5年度が27件、6年度が35件であったが、速やかな修繕対応等により、

## 中山参道の活性化

**問** 数々の国宝や重要文化財を有する中山法華経寺に続く中山参道は、非常に高いポテンシャルがあるものの、高齢化などから空き店舗が目立ち、本来あるべき魅力が発揮されていないと

**答** 中山参道活性化事業では、期間を定めて希望者に空き店舗を貸し出すチャレンジショップの開設や、PRイベントなどにより中山法華経寺の文化遺産を含めた地域一帯の周知を行うほか、生み出されたにぎわいが一過性のものにならないよう、向かうべき将来像を明確にする「中山参道活性化プラン」の策定を行う予定である。今後は、街づくりに関して専門的な知見やノウハウを持つ事業者にこれらの事業を委託し、本市、中山まちづくり協議会、事

## 創生市川・自民党第2

中山 幸紀 加藤 圭一  
細田 伸一 青山ひろかず



## 行徳駅周辺の整備

**問** (仮称) 押切・湊橋(以下「押切・湊橋」という)が整備されることで、東西線行徳駅の利用者や市道0104号行徳駅前通りの人通りの増加が想定され、行徳地域における交通の流れも大きく変わると考えられる。しかし、行徳駅前にはロータリーがなく、路線バスやタクシーが道路の路肩に停車している状況も見受けられ、円滑な交通に少なからず影響を及ぼしていると考えられる。そこで、押切・湊橋の進捗状況及び周辺の整備の進捗状況について問う。

**答** 押切・湊橋の整備は、県と東京都による事業であり、現在、県が橋梁の設計などを進めている。押切・湊橋及び市道0104号は、都市計画道路3・4・25号湊海岸線として都市計画決定され、その大部分が整備済みと概成済みになっており、残っている押切・湊橋の事業区間が完成することで、都内への幹線道路となる。そこで、行徳駅入口交差点から新浜通り交差点までの無電柱化と自転車レーンの整備やバス・タクシーの待機場所の見直しを行い、交通の円滑化及び利用者の利便性向上を図られるよう、詳細設計を進めていく。



(仮称) 押切・湊橋 (完成イメージ図)